

ロンドン・パラ五輪車いすバスケット男子日本代表

角田で最終合宿開始

市民有志が支援組織設立

8月末に始まるロンドン・パラリンピックに出場する車いすバスケットボールの男子日本代表の代表ヘッドコーチ(HC)



ロンドン・パラリンピックに向け、最終合宿をスタートさせた車いすバスケットボール男子日本代表

最終合宿が2日、角田市総合体育館で始まった。山元町にあった岩佐義明

志は支援組織をつくり、最高の状態で代表をロンドンへ送り出そうと、合宿を盛り上げている。

岩佐HCが指揮する仙台市の「宮城マックス」

の7人を含む代表12人をはじめ、補欠や練習をサポートする特別招集選手、スタッフら計約25人が参加。5日まで練習する。

山元町の自宅を津波で失った岩佐HCは昨年10月、角田市内に自宅を構えた。代表HCの地元で

最終合宿を行う慣例を踏まえて、市体育協会関係者らが準備を進め、ことし2月に「岩佐義明を応援する会」を設立した。

応援する会は宿泊場所の手配、送迎といったサポートのほか、Tシャツを作るなどして市民に競技や合宿開催をPR。4日には、小中高生対象の体験会、壮行会などで、選手との交流を図る。

2日の合宿開始式で、同会の石黒勝昌会長は「体調管理に気を付けて合宿を乗り切ってほしい」と歓迎した。岩佐HCは「いいチームになってきた。さらに角田で調整を進め、少しでも良い色のメダルを目指す」と抱負を述べた。見学は自由。日本代表は30日、初戦でカナダと対戦する。